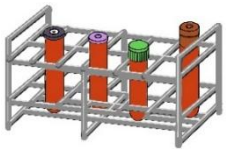
検査室の紹介

検査室だより　2026.10

今回は、この検査室だよりを発信している検査室についてお話します。
検査室には臨床検査技師という職種のスタッフがいます。
臨床検査技師の業務は大きく２つに分かれ、血液や尿などを調べる検体検査と、心電図など患者さんの身体に触れて行う生理検査です。
当院でどのような検査ができるのか、ご紹介します。



★検体検査★
患者さんから得られた血液や尿を、検査機器などを使い測定します。
特殊な項目は外注といって外の検査機関に委託していますが、院内でもある程度の検査が可能です。

・生化学検査（腎機能、肝機能、血糖、脂質、炎症反応など 20 項目以上）
・HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）（過去数か月の平均血糖値を反映する）
・血液学的検査（白血球数や赤血球数、ヘモグロビン、血小板数など）
・尿検査
　定性検査：試験紙を用いて糖やタンパクなど数項目について、(＋)か(－)か、(＋)の場合は量的にどの程度の多さか調べる
　尿沈渣：尿を遠心分離して血球などの細胞を選択的に集め、染色液で染めて顕微鏡で観察する
・血液ガス分析（血液中の酸素や二酸化炭素の量を測定する）
・便潜血検査（便に血が混じっていないかを調べる）



上記のほか、最近ではドラッグストアでも市販されていますが、インフルエンザなど数種類の感染症の迅速検査や、輸血が必要になった際に、血液製剤が患者さんに対して適合しているかどうかを調べる検査なども行っています。
次回は、当院で可能な生理検査についてご紹介します。

お気軽に医師・看護師までご相談ください。

医療法人 良秀会
泉北藤井病院